

サイエンスとテクノロジーで
夢をかたちに

公益社団法人 応用物理学会

ダイバーシティ&インクルージョン委員会

応用物理学会

- 物理学をベースに、理学と工学をつなぐ技術・学問領域
- 化学や医療分野への発展も含め、高校までには習わないような幅広い分野が対象
- スマートフォン・太陽電池・LED・コロナウィルスの検査などを支える技術
- 企業所属会員の数が全体の30%と、産業界との関わりが深い

ポスターでは、応用物理学の会員が、どんな研究をしているのか、女性会員がどんな進路をたどって現在の職業に至ったか、事例紹介をします。

毎年3月に無料公演開催！

2022年3月の内容

参加無料
一般公開

ジェンダード・イノベーション を通して考える 応用物理の男女共同参画

● 招待講演者／講演題目（敬称略・仮題）

山本 佳世子（日刊工業新聞社）「イノベーションは多様な個性の掛け合わせから」

竹内 都美子（マツダ株式会社）「「自然体」 人を中心としたMX-30開発」

永松 愛子（宇宙航空研究開発機構）「多様性とWLBを意識したJAXAの新しい働き方について」

伊藤 貴之（お茶の水女子大学）

「情報科学業界における人材多様性の必要と女子大学での進路事情」

● パネルディスカッション

司 会：斉藤 公彦（福島大学・シンポジウム世話人）

パネリスト（予定）：山本 佳代子、竹内 都美子、永松 愛子、伊藤 貴之、為近 恵美（横浜国立大学）

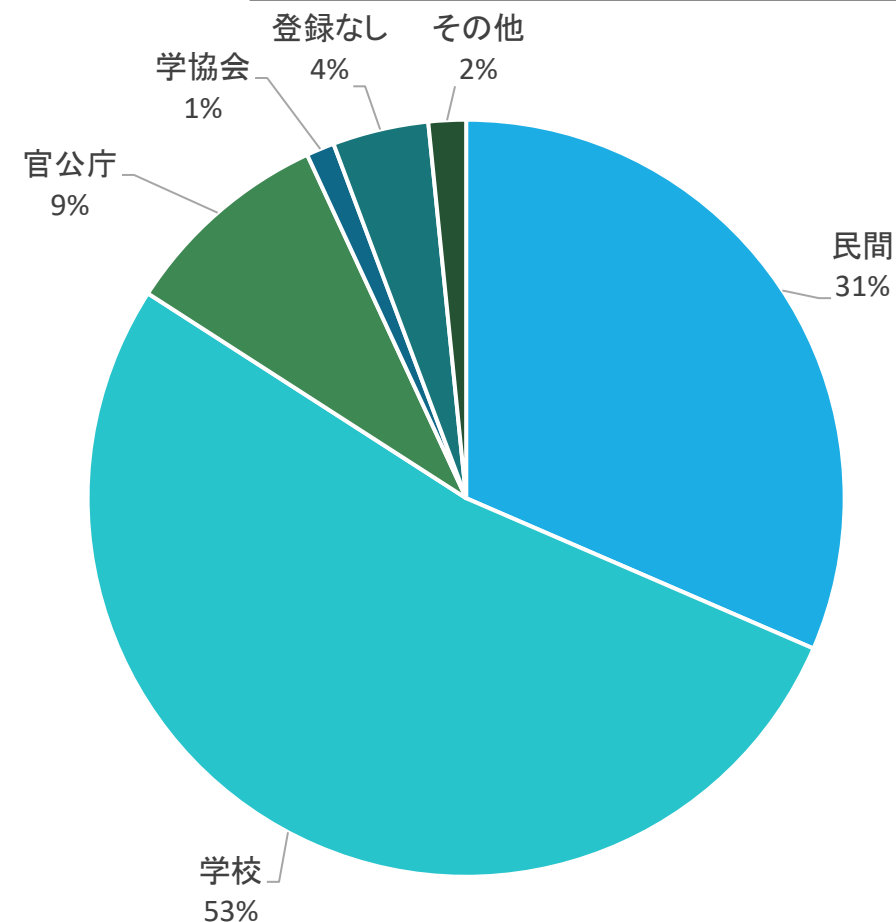


科学・技術・人との出会い

女子中高生 夏の学校

オンライン

応用物理学会とは？



学会とは

大学や企業の研究者が研究分野ごとに集まった組織
所属組織をまたいで同じ研究分野の専門家と議論することができる(年に数回の研究成果発表会、若手の勉強会など)

理系分野(物理系、化学系、生物系)はもちろん、文科系の分野にもたくさん組織されている



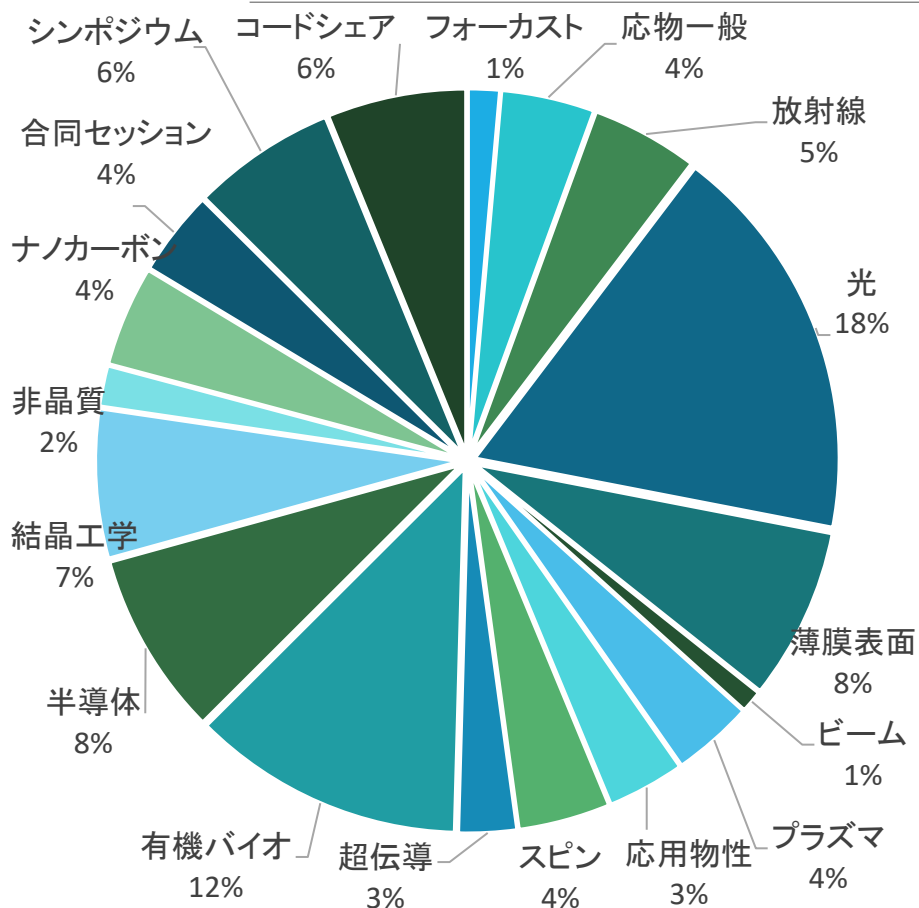
応用物理学会とは

複数の分野にまたがった領域が多く、実際の製品開発に役立つ研究発表ができる、聞ける

会員数 約18000人(2022年6月現在)

民間企業の方の会員が多く、産業界とのつながりが深い

応用物理学とは？



応用物理学とは

物理学をベースに、理学と工学の境界領域をカバーするきわめて広い分野を対象とした技術・学問領域
高温超伝導や青色発光ダイオードなどの近年の重要な成果は、応用物理学会を中心としたコミュニティから生まれた

研究範囲が様々な分野にまたがる学問
化学や電気、材料など異なるバックグラウンドを持った多くの会員が、この分野で活躍中！
物理はもちろん重要ですが、いろいろなことに興味を持って、勉強して身につけておくことが大事

身近な応用物理分野の技術

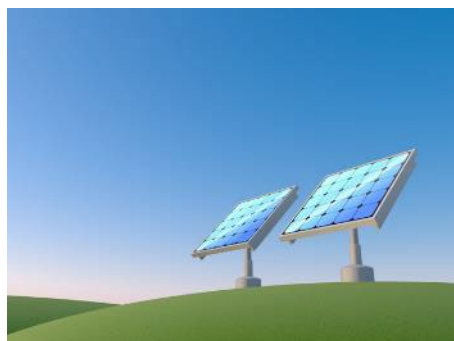
ナノ材料



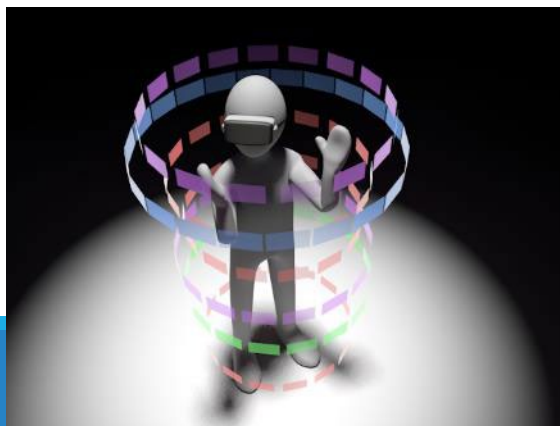
パソコン、
スマートフォン



再生可能エネルギー
省エネルギー技術



インフォマティクス、AI



材料

バイオ

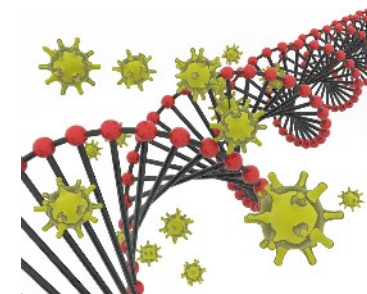
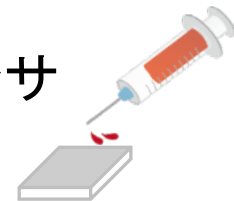
物理

電気

光

バイオチップ

- ・プラズモニクスセンサ
- ・レーザー加工



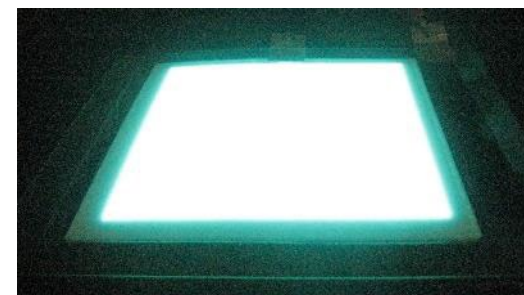
新型ATM

- ・指紋認証
- ・静脈認証



信号機

- ・発光ダイオード



応用物理学会 D&I委員会とは？

ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)委員会

老若男女を問わず、誰でも専門性を活かして貢献できる社会の構築を目標としています。
十数名の委員(男女比約半々)とアドバイザーで、幅広く活動しています。

応用物理学の会員の女性比率は、7%程度と多くはありませんが、
応用物理学会は男女共同参画にもっとも熱心に取り組んでいる学会として知られ、
多くの女性研究者が活躍しています。

主な活動:

- ・ 応用物理学会 春季学術講演会でのシンポジウム開催
- ・ 応物女子会(NEWMAP)を通じた女性研究者のネットワーク拡充
- ・ 学術講演会での託児室の設置
- ・ 「応用物理学会 ダイバーシティ&インクルージョン賞」 etc

